

所 信

日々成長、日々進化
～私たちの成長がまちの未来を創る～

一般社団法人 奈良青年会議所
理事長 伊藤 政夫

【はじめに】

奈良青年会議所への入会を決意した時、私の人生が大きく変わりました。自らの生業社会しか知らない私にとって、たくさんの経験と学びがあり、多くの仲間との出会いがありました。入会してからの8年間は毎日が成長の機会であり、私という人間を日々進化させてくれています。事業の構築に向けてのプロセスや事業を終えた達成感、また、たくさんの方々との出会いはかけがえのない財産になっています。さらに、組織とは何たるかを学び、県内、外のメンバーとの交流、また自分がいつかはこうなりたいという理想とするリーダーとも巡り合いました。時には厳しく、時には優しく自らの行動で我われを導いてくださったのも青年会議所の先輩でした。青年会議所は様々な可能性を秘めている団体です。私は奈良に住まうひとりの青年として、地域の未来を担う一人間として、価値観や信念、人として思いやりの心を事業や市民の皆さまとの出会いを経て教えていただきました。皆さまには私と同じ経験をしていただきたいのです。そして、共に成長していただきたい。なぜなら、このまちに住み暮らす熱い想いを持った人びとや、高い志を持った人の成長がまちの未来を創るからです。

【全国大会を終えて】

全国大会主管に向けての活動は、奈良青年会議所メンバーの資質向上と市民意識変革を重要な目的の柱の1つとして取り組んでまいりました。この奈良のまちで大会を開催するのだという熱い想いで決意してから大会主管までの活動は、メンバーに学びの場、そして、何ごとにもあきらめずに成し遂げる力を与えてくれました。その結果、これまで経験したことのない大きな事業をすべてとのつながりをもって乗り越え、想像以上の成長を我われに与えてくれました。しかし、「明るい豊かな社会の実現」を目指す青年会議所として大会を終えたことに満足し、立ち止まっていたはいけません。未来を見据えた運動のステージを自らの意志で切り拓かなければならないのです。そして、私たちは全国大会奈良大会後の進化した奈良青年会議所を地域の人びとやお世話になった方々に見ていただく必要があるのです。

【地域連携の進化】

では、私たちの掲げる理念「明るい豊かな社会の実現」とはいったいどのような社会なのでしょう。「明るい」は人びとが未来へ向け夢や希望を持ち、生き活きとした笑顔で日々の生活をおこなっていること。「豊かな」とは心が豊かであること。青年会議所は地域の皆さまと共に運動を行っていく団体です。私たちは地域と共に事業を展開し、それにもないコミュニティを強固なものにして、互いに支え合う心豊かな社会を実現しなければなりません。そのためにはまず、県民・市民の皆さま、行政、各諸団体の皆さまと共に創りあげた記念事業を総括・検証して経た確かな見識を引継ぎ、運動に活かしてまいります。そして、思いやりの心が溢れ、相互扶助の精神溢れる地域を創造いたします。

また、地域の皆さまと情報を共有し連携運動を行う上で、まちづくりを行える人材をこれからも継続的に育成することが必要です。多大なるご支援を頂いた地域の皆さまと連携し事業を創り、共に成長することで未来を担うリーダーを育成いたします。ひとつづくりとまちづくりは青年会議所運動の両輪です。奈良青年会議所メンバーのみならず、すべての皆さまと共に成長し、地域を活性化させる運動の構築を行います。そして、運動を通して青年会議所の理念「明るい豊かな社会の実現」と、地域の皆さまのまちに掛ける熱い想いを融合することで進化した青年会議所運動を展開してまいります。

【組織の進化と情報発信の重要性】

私たちの運動を効率的に地域に活かすためには、組織力の進化は必要不可欠です。英知と勇気と情熱を集結した運動をメンバー間のつながりをもって共有し、他人事とせず協力しあい実行に移す。メンバー同士の強固なつながりが組織力の進化につながり、私たちの目的達成の原動力となるのです。事業を通して互いに切磋琢磨するからこそ、友情が育まれ、当事者意識をもったメンバーが増え、LOMが1つとなるのです。また、今の青年会議所運動を考えると、奈良のまちや市民の皆様に情報を浸透させていく余地がまだ残っていると考えます。いくら私たちが良い事業をしたとしても、市民の皆さまに伝わらなければ、運動とはならないのです。つまり、私たちの掲げる市民意識変革運動とは情報を市民の皆さまと共有して初めて成し遂げることができるのです。また、様々な情報が飛び交う社会、その中から何が正しい情報なのか、何が必要な情報なのかを見抜くことが大切であり、多くの情報の中から必要な情報を抜き出す能力が求められています。そのためには、多くを学び、正しい情報の収集、法令遵守した正しい情報の発信ができる自立した情報発信力の確立が必要です。私たちが発信する情報が地域に信頼され、多くの市民の皆さまの意識に変革をおこすような情報によるコミュニティの確立を行わなければなりません。人とひととがつながり、スピーディーに情報を発信・共有してこそ組織としての運動を加速させるのです。

【渉外運動～青年会議所という学び舎において～】

私たち奈良青年会議所は2013年に公益社団法人日本青年会議所 第62回全国大会奈良大会を主管させていただくにあたり、これまで多くのメンバーを日本青年会議所、近畿地区協議会、奈良ブロック協議会に出向させていただき、大きなつながりをいただきました。これからもそのつながりから得た友情や学びに感謝し、日本青年会議所、各協議会に積極的に関わります。そして、出向者が各々の立ち位置で思う存分に力を発揮出来るよう支援体制を築いていきます。

また、公益社団法人日本青年会議所に常任理事を輩出するにあたり、奈良青年会議所として今まで以上に日本の青年会議所運動を身近に学ぶ機会を得ます。そこで、全メンバーが積極的に日本青年会議所の発信する運動に参加・参画し、日本人としての国民意識の醸成を行います。出向メンバーのみならず全てのメンバーが日本青年会議所における最新のJC運動を体感し、正しい歴史観と確かな国家観を得て、地域への愛郷心を更に高めることが大切であり、その過程での自らの成長と日本国民としての意識の醸成が地域の発展へとつながっていくのです。

【交流から新しい出会いやつながりを】

青年会議所は40歳までの青年が集まり、明るい豊かな社会を実現するために集まっています。その同じ目的を持つことがJCへの求心力となり、多くの友情を育みます。そのメンバー同士の友情が、まちづくり運動の原動力となり、志を同じくするメンバーが集まって運動の推進力となるのです。私たちの友情を育むには、大いに議論し、語り合うことが重要です。違う個性を互いに認め合い、理解してはじめて友情を深めることができます。交流を通してメンバー同士のコミュニケーションの充実を図り、つながりを強固なものとしなければ運動の原動力にはならないのです。

また、交流にはさまざまな種類があります。私たちは奈良青年会議所として、地域の人びとと隅々まできめ細やかな交流をおこなうことで、新しいネットワークが構築され、JC運動の発信もおこなうことができると考えます。だからこそ、常に相手の気持ちを理解し、仲間を思いやることのできる関係を築くことが大切なのです。

【志を同じうする者を集めよう】

会員拡大については、未だ知らぬ同世代の青年たちに対し、自身の経験をもとにJC運動の魅力を如何に楽しく、希望に満ちた世界であるのかを伝えるのが重要です。私は、青年会議所について何も知らず、敬愛する先輩に誘われ入会いたしました。そして、「明るい豊かな社会の実現」という大きな理念に心から感銘を受けました。今では志を同じくする仲間とともに、様々な活動や同じ時間を共有することで友情が生まれ、私のかげがえのない財産となっています。私は、青年会議所で多くを経験し学ばせていただきました。だからこそ、多くの学びや経験を逃している同世代の方々がいるのは非常に残念なことと考え

ます。このまちの未来を担う仲間を一人でも多く集め、素晴らしい経験を共に分かち合うために、会員一丸となって拡大に取り組んでまいりましょう。また、拡大について語るうえで奈良のまちや奈良青年会議所を牽引するリーダーも多く育成しなくてはなりません。拡大の対象となる青年世代に対して、奈良青年会議所の看板を背負い対話し、自らの行動をもって魅力を示す必要があるからです。私たちが思い描く明るい豊かな社会の実現のために公共の担い手を多く育ていきましょう。

【創立55年から未来へ】

1959年9月3日、志高き22名のメンバーによって奈良青年会議所の灯りが灯りました。本年度は創立55周年という節目の年を迎えます。55年もの長きに亘る月日を奈良のまちに根差した運動体として、1日も休むこと無く歩んできた奈良JCの歴史を今一度検証し、その時々輝かしい実績と、多くの先輩方のたゆまぬ努力を知ることで青年だからこそ描ける未来を創造していきましょう。そして、この55周年を機に、40歳で卒業する常に若い団体としての英知と勇気と情熱で、中長期的視点に立ったビジョンを描き出し、組織として具体的且つ効果的に歩みを進めます。そこで、創立50年からの5年間を総括する意味においても第62回全国大会奈良大会の運動の成果を検証することが重要であると考えます。今一度、これまでの奈良JCの足跡を振り返りつつ、全国大会奈良大会主管の意味、地域や私たちにもたらした成果などを総括・検証し未来へつなげてまいります。

また、2014年度は公益社団法人郡山青年会議所との姉妹締結40周年を迎えます。第55回全国会員大会郡山大会で気づきと成長をいただき、第62回全国大会奈良大会では多大なるご支援をいただきました。私たちは先輩諸兄からつむいできた友情をさらに強固なものとし、共に切磋琢磨できる関係を続けてまいります。活躍する地域は違えど、未来を語り、明るい豊かな社会の実現を共に目指す団体として、更なる絆を深める機会といたします。

【おわりに】

青年会議所運動に携わるとき、自らの意思で運動の輪に飛び込み、成長につなげていくことがとても大切です。その時に少し背中を押し、機会を無駄にしないように道を示すのも私の仕事です。私は奈良青年会議所の理事長としてメンバーの皆さまを預かり、まちの未来を預かります。光り輝く自分の可能性を信じて疑ってはいけません。自らの成長が地域の未来を輝かせるのです。これまでの出会いや経験が青年経済人として、JAYCEEとして大きく成長させてくれたことに感謝し、55年もの時をともに歩んでくれた我がまち奈良に感謝しましょう。青年会議所運動に携わっている今、この一瞬を無駄にすること無く、まちの未来のために行動を起こしましょう。私たちがまちの未来を創るのです。日々成長し、日々進化する。奈良青年会議所は未来に向けて新たな一歩を示します。